



子どもの居場所 川崎市子ども夢パーク

昨年11月「川崎市子ども夢パーク」に会員と市役所職員の方と共に、視察に行きました。

入口にある大きな看板に書かれた言葉を読み、私は感動しました。子ども夢パークは川崎市子どもの権利条例 第27条からつくられた施設です。

「子どもの居場所」を地域全体で大切にできたいですね。
(かなもん)



地域の皆さん

ありがとうございます

荒井畳店さま 坂本さま 山崎さま
カスミフードスクエア越谷大袋店さま
加藤工務店さま 樺(けやき)組さま
タイヤガーデン越谷さま
ドラッグストアセキ花田店さま
日本工業大学さま 丸孝木材(株)さま
(株)山下工務店さま
木材・工具・竹・タープ・古タイヤ・ダンボール・お野菜などを提供いただいております。

会員になってプレーパークを応援しませんか

全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。現在、NPO法人越谷にプレーパークをつくる会は、正会員35名、賛助会員4名です。会員が増えると開催日も増えて、プレーパークがもっと身近になります。応援してくれる人を募集しています。

- 正会員 2000円/年
(活動趣旨に賛同し積極的に応援)
- 賛助会員 1000円/口 何口でも!
(財政的にサポート)

会費・寄付金は郵便振替でもお受けしております。

00540-2-78897 NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

『モットーは自分の責任で自由に遊ぶ』

普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追及する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。

プレーパークって?

「〇〇してはいけません」という禁止事項のない遊び場。何をしてもいい、なにもなくてもいい。穴掘り、木登り、泥んこ遊びや火を使った遊びなど、子どもたちが「やりたい!」と思ったことを自由にできるように、大人たちが知恵を出し合って運営しています。



そうしないと禁止事項ばかりが増えてしまい、結果、子どもが自由にチャレンジする機会を奪うことになってしまいます。子どもが思いっきり遊べる場所をみんなの力でつくりましょう!

プレーリーダーって?

子どもととことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。

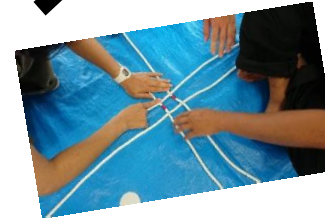
遊びあふれるまちへ



越谷にプレーパーク をつくる会 通信

55号
2月発行
2020

ついに完成! ジャンボハンモック



7月から編み始め...



●1/12 大袋北交流館にて最後の仕上げ

約半年に渡って作り続けてきた

「ジャンボハンモック」がついに完成しました!

なんと完成まで延べ100人以上の方が作業に関わってくれました。常連の親子だけでなく、ハンモックをきっかけにプレーパークに来るようになった親子、子育てを終えたお父さんやそのお友達、市職員のお姉さんもハンモックと一緒に編みました。



プレーパークではどろんこやチャンバラなど「動」の遊びが多い中、集中してじっくり編み進めていくこの作業は「静」の遊びとして参加者の居場所になっていたようです。一緒に編んでいると不思議と会話も弾み、多世代交流の場になっている日もあれば、子育て談義に盛り上がる日もありました。

また、今年の大袋プレーパークでは「小学生の参加者を増やす!」という目標があります。小学生にもなると、汚れずにあそびたいと思う子どもが多くなります。第1弾はジャンボハンモックでしたが、それに留まらず、小学生がワクワクする、行きたくなるきっかけをどうやって創っていくか、プレーリーダーやスタッフで模索中です。ハンモック作りの過程で出た1メートルほどのロープがたくさんあるので、まずはそれを使ってミニハンモックやおもちゃを作ってみようと考えています。

ぜひ遊びに来た皆さんからも、こんなものつくってみたい、あんなのがあったら楽しそう、というものがあれば教えて下さいね。(とまと)



●幼児も挑戦!暑い日も編み続けました。大袋プレーパークにて

今回この企画は、子どもたちの支援をしている「浦和競馬こども基金」を利用することで実現しました(実は材料費だけで7万円ほどかかっているんです)。おかげさまで太くて丈夫なロープを使うことができたので、安心して楽しんでくださいね。↗

NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会

みんなの遊びっぷりをブログで
たっぷり紹介しています ⇒⇒⇒
Facebookもやっています。



MAIL koshigaya.asobo@gmail.com
TEL 090-7411-4693 (浏野)
FAX 048-978-3817

プレーパーク 越谷

公園を舞台に、広がる夢



公園・夢プラン大賞 やりたい夢部門・入選 『いつでも火が使える公園』

公園・夢プラン大賞（主催 一般財団法人公園財団）とは、全国の公園緑地等を舞台に市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査・表彰するものです（公園財団HPより）。

当会も公園管理団体の一つなので、普段から整備などについて考えています。もし受賞したらプレーパークの周知にもなると考え、理事2人とプレーパークに来るパパで3作品を応募しました。その中で『いつでも火が使える公園』がやりたい夢部門で入選しました！この作品は、普段から近所の公園で自由に火が使えたらどんな毎日になるだろうと、理事達でアイデアを出し合い想像を膨らませて書きました。

公園・夢プラン大賞HPに本文が掲載されていますので、ご興味のある方はぜひご一読ください。

公園はまちになくってはならないもの。みんなが安らげて自然を感じたり体を動かせる場所として作ったはずなのに、今は禁止事項ばかりで子どもは満足に遊べません。この賞のように公園の可能性を市民みんなで考え、取り入れることができれば、素晴らしい公園と住みやすいまちになると思います。

（クリリン）



「おとうさんのヤキイモタイム」



空き地活用で

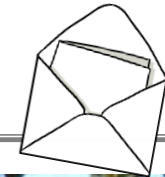
1月19日に「おとうさんのヤキイモタイム in 越谷」を開催しました。このイベントの発端は越谷市大成町の地主さんから、空き地となっている私有地の使い道について相談を受けたことから始まります。スタッフ数人でこの土地を訪れた時、レイクタウンの近くにも関わらず自然が残っているのどかで懐かしい風景に心を打たれました。

見学の後、地主さんのお宅（昔ながらの農家のつくり）にお呼ばれして縁側で果物や梅ジュースをいただきながら、地域や越谷の歴史のお話をしてゆったりとした素敵な時間を過ごしました。

空き地を地域のためになる場所にしたいという地主さんの思いから、何かイベントをやってみて地域の人の反応をみようということになりました。また以前からプレーパークにくるパパが少なく寂しかったので、父親主体のイベント「おとうさんのヤキイモタイム」をこの土地で開催することになったのです。イベントを通して思いがけない出会いの連続で越谷の地がまた好きになりました。また遊び場づくりとは自然を守ることにつながるまちづくりであると実感しています。（KAZU）



プレーリーダーからの手紙



●プレーパーク特製イチゴ飴にニコリ

こんにちは。文教大学4年のまほです。

「子どもを見守ること」の難しさについてお話しします。プレーパークでは、ずっと大切にされてきた考え方ですが、どこまでを許してどこから止めるかというのはいつも難しいと感じます。特に、小さいハンモックには1人しか乗れないため、よく争い

が起きます。そのとき私は順番でやるようにすぐ注意してしまっていました。そういうときどうすればよかったのか一緒に運営している人に聞いてみると「口出ししなくても放っておけば大抵のことは子どもたち自身で解決する」とおっしゃっていました。それでも私は、その場に直面すると、喧嘩になったら嫌だなとか怪我したら怖いと思って迷いながら声をかけてしまうことが多いです。

でも、プレーパークの子どもたちをみていると、そこでグッと堪えて見守ることが子どもたちにとって、自分たちでどうしたら良いか考えるきっかけになっているんだと感じることができます。

たった1年しかいられなかったけれど、その間にもたくさんのことを吸収してどんどん成長していく姿を見ることが出来てすごく嬉しかったです。プレーパークのような子どもも保護者も成長できて、心があたたかくなるような場所がもっと色んなところにあることを願っています。



中・高校生の居場所ここにあり！

今年度の放課後子ども教室、昨年春に中学生になった子ども達も部活やテストの忙しいなか合間をみつけて顔をだしていました。高校を卒業した年齢のかつてここで遊んでいた男子が友達3人を連れてきて何回か遊びにきているうちに小学生の子ども達はもちろん、その中学生達と交流が生まれていて、顔をあわせると遊んだり他愛のない会話をしていました。あるときは中学生が悩みをきいてもらっている様子でした。そのときふと思ったのです。

小学生には「放課後子ども教室」「子ども食堂」「児童館」など学校以外のコミュニティが思いつくけれど中学生・高校生には？？…思いつきにくいです。プレーパークが中・高生の居場所になれるのではないのでしょうか。（川）



●雨天時は子どもたちと一緒にタープを張って屋根づくり



大袋プレーパーク 越谷市プレーパーク事業

（西大袋第1号近隣公園内 大袋幼稚園そば）

10:00～15:00 @大袋原っぱ公園（大竹617-1） 小雨決行/荒天中止

ちびころ

小さな子も外遊びを楽しんでほしいと願って作った未就学児の親子の遊び場です。

10:00～13:00 @大袋原っぱ公園（大竹617-1） ※雨天中止（当日Facebookでお知らせ）

東越谷プレーパーク 越谷市放課後子ども教室（070-2649-0832）

毎月第3土曜日（10:00～15:00・小雨決行/荒天中止）@東越谷第7公園（花田1-4）

★持ってくるといいもの：飲み物 食べ物 タオル 着替え（替え靴・長靴）ゴミ袋

★できるだけ使い捨てを使わないよう、コップ・お箸・お椀をご持参ください。

プレーパークにも食器を用意してあります。洗って戻してね。

★公園のごみは各自持ち帰りましょう。最後に清掃活動をしています。

